

2021年度 運営基本方針

亀岡市バレーボール協会は、京都府バレーボール協会、亀岡市スポーツ協会の傘下において、協会加盟団体などとともにバレーボール競技の特性である「つなぐ」をモットーに「今できること」「今やらなければいけないこと」を合言葉に組織の活性化に努力します。

2020年度は、「コロナ」という感染症が広まり、世界中が未曾有の事態に落ち込みました。そのような中で、東京オリンピックに向かって進んでいたスポーツ界も動きが止まり、亀岡における全てバレーボールの大会が延期、又は中止をせざるをえませんでした。しかし立ち止まってはられません。これからの大会は開催者や主催者だけではなく、応援、観戦、すべてのスタッフが感染に対して個々で責任を持って参加する事が重要です。そしてバレーボール競技を通じて児童・青少年から高齢者にいたるまで、心身の健全な育成、発達、維持および人間性の向上に寄与し、安全で豊かな地域社会の取り組みに貢献していくこととします。

次の6点を重要課題とする。

1. 組織・運営関係

組織活動の確立と円滑な運営を推進する。

「感染予防、体罰、暴力、セクハラ、パワハラゼロ」に向け役員、各チームにおいて周知徹底し防止に努める。

参加チームの拡大。登録チームを増やす。

登録チームと役員が一体となり大会を成功させる。

役員の養成と資質の向上を目指し組織活動の強化を図る。

HPを充実し活動を協会員以外の方にも知ってもらう。

2. 競技関係

本会の大会開催準備及び感染予防、大会運営を円滑に進めるため、講習会、研修会を行い役員の責任体制を確立し人材の育成に努める。

3. 審判関係

審判員の養成並びに審判技術の向上と協会員、全員が感染予防ルールにも精通し、共通理解を深める様に努める。

「9人制」「ソフトバレーボール」の機能的な講習会、研修会を開催する。

4. 強化関係

京都府民総合体育大会、オールエイジに向け、継続的、計画的な選手強化をさらに推進し、上位を目指すと共に、登録チームのレベルアップのため、指導、強化に努める。

小学生を対象としたバレー教室を開催する

5. 指導普及関係

生涯スポーツとしてのソフトバレーボールの普及、指導者養成活動に力を注ぐと共に小学生バレーボールクラブの指導者養成並びにクラブの拡大を図る。

6. 財政関係

諸事業を積極的に推進すると共にそれに必要な財源を確保し、長期的な運営の安定を図る

当協会運営に、協賛していただく業者に対しチームへの販売協力依頼。